

# 平成 28 年度 事業報告書

## I 概 要

「高岡市総合計画第2次基本計画」では、重点的な取組として「高岡新世紀創造プロジェクト」を掲げ、その取組む5つのテーマの一つ「歴史・文化」において、「生涯学習体制の充実と新たな文化創造」を掲げている。

第2次基本計画の最終年にあたり、当事業団では特に地域に根ざした芸術・文化活動の育成に向けて各種事業実施に取り組んだ。各文化施設等が市民に有効に活用されるよう、事業団独自のノウハウやネットワークを活かし、利用者ニーズに沿った施設管理と事業展開に努め、高岡市の芸術文化の振興に貢献した。

また、新たに「高岡市総合計画第3次基本計画」が策定され、「豊かな自然と歴史、文化につつまれ、人と人がつながる『市民創造都市』高岡」という将来像に向け、「歴史・文化」分野において貢献したい。

### ○ 文化施設等の適正な管理と利用の促進

平成28年度は、第3次指定管理者期間（平成24年度～28年度）の最終年（但し二上まなび交流館は初年度）であり、8施設の管理運営を行うとともに、高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーの管理運營業務を昨年を引き続き、受託した。利用者に安全・快適に施設を利用していただけるよう、施設管理に万全を期すとともに、利用者のニーズに沿った水準の高いサービスを提供し、施設の利用促進を図った。

### ○ 文化振興事業の展開

市の文化振興施策の方向を踏まえ、質の高い舞台芸術の創造事業や市民の芸術文化への関心を高める事業、市民ニーズに応える事業などを展開している。

万葉歴史館では、春の特別企画展「万葉と古代歌謡」、秋の特別企画展「万葉の衣食住」を開催した。7月から8月には、大伴家持生誕1300年記念イベント「夏の特別展示『ちはやふる』と百人一首の世界」を開催し、少女漫画『ちはやふる』（作・末次由紀）の複製原画などの展示に、小・中学生や家族連れ、若者などが数多く来館した。

美術館では、6月に「工芸都市高岡クラフトコンペの30年」展、7月～8月に「生誕100年 村上炳人展 一造形を詩う」展、9月～10月に「美の記憶—よみがえる至宝たち—」展を開催した。恒例の展覧会としての「日本伝統工芸富山展」、「高岡市民美術展」、「クリエイティブ・たかおか～未来に輝く 高岡市児童生徒作品展～」のほか、当館のコレクション展示として「コレクション展 高岡の金工・漆芸 入門！」を企画展示室で開催した。

博物館では、7月～10月に特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」を、続けて10月～1月に企画展「緊急延長！新たに寄贈された戦時下資料」を開催した。また「お宝コーナー」展（4回）や館蔵品展のほか、郷土学習講座（全3講）や古文書講座（全6講）、ミニ講座（全12回）や屋上開放や呈茶の会など各種

イベントも開催し、多くの方々に来館・受講いただき、好評を得ることができた。

市民会館では、開館50周年を迎えたことを記念し、6月に「大阪桐蔭高等学校吹奏楽部特別演奏会」、10月に「オーケストラ・アンサンブル金沢 with 高岡第九」を開催し、満席の観客へ圧巻のステージと感動の響きを届けた。また、地域創造助成事業「五環の森プロジェクト」（2年目）では、5月から7月に「め・目・メ」と題した企画展をミュゼふくおかカメラ館で開催し、これまでにない新しい視点で表現することの豊かさや楽しさを伝えた。

カメラ館では、春に「木村芳文展」で星景写真作品を中心に、夜空にきらめく星々と荘厳に浮かびあがる白山自然態系を紹介した。夏には、全世界で高く評価されている写真家・岩合光昭による「どうぶつ写真展—地球の宝石—」を開催した。また「立木義浩展」では立木氏の58年に及ぶ活動の軌跡を展示し、「石川賢治展」では、満月の夜に浮かび上がる世界中の大自然を展示した。

## II 各施設の事業内容

### 1 文化振興事業

事務局では、「第46回高岡市芸術祭」（期間：10月29日から11月13日まで）を高岡市芸術文化団体協議会（邦楽、洋楽、華道、茶道）及び高岡市美術作家連盟との協働により開催した。また自主事業活動として市内小学校へのアウトリーチ活動「出張公演・出前講座」を年間15回開催した。

### 2 万葉歴史館事業

万葉歴史館では、平成29年の「大伴家持生誕1300年」に向けて、万葉をテーマとした展示や学習講座等を開催し、越中万葉の普及と「万葉故地 高岡市」の文化創造に努めた。

企画展示は、前年度に引き続き第6回企画展「越中国と万葉集」を実施した。

春の特別企画展「万葉と古代歌謡」では、古代の「うた」について様々な面からその魅力を紹介した。大伴家持生誕1300年記念イベントとして実施した夏の特別展示「『ちはやふる』と百人一首の世界」では、少女漫画『ちはやふる』（作・末次由紀）の複製原画などの当館における展示と、関連イベント「体感！『ちはやふる』と競技かるたの魅力」（会場 高岡市生涯学習センター・ホール）を開催し、数多くの来場者が、漫画『ちはやふる』と『小倉百人一首』に選ばれた万葉歌人、百人一首かるたの魅力を発見した。秋の特別企画展「万葉の衣食住」では、「衣食住」を切り口として越中万葉の世界を紹介した。特別展示「万葉のふるさと高岡フォトコンテスト入賞作品展」では、「越中万葉歌に詠まれた植物」をテーマに募集した作品の中から入賞作を展示した。

教育普及事業では、例年実施している高岡万葉セミナーを「万葉の衣食住」と題して開講した。（※関連展示：「秋の特別企画展」）学習講座は、「館長講座『日めくり万葉集』を読む」・「古代への招待」・「万葉集をよむ」・「大伴家持とともに」・「越

中名歌に親しむ「はじめての万葉集」・「はじめての万葉集」を前年度に引き続き開講した。あわせて臨地研修講座の「第4回越中万葉ウォーク―魚津―」、「第2回歌枕を訪う―古今伝授の里―」を開催した。また、富山大学での館長と研究員による万葉集に関する講義、学校移動展示「越中万葉パビリオン」、「坂本信幸の越中万葉教室」を昨年度に引続き実施し、学生が『万葉集』に親しんでもらえるように取り組んだ。

出版事業では、万葉歴史館の研究成果を紹介する『高岡市万葉歴史館紀要 第二十七号』、『高岡市万葉歴史館論集』17(『万葉の生活』)を出版した。

来館者や学校、団体客などには、ボランティア「和草」と研究員が、館内の案内や展示の説明をして、わかりやすく万葉の世界を伝えた。

学会招致事業では、平成二十八年度日本歌謡学会春季大会(会場 高岡市万葉歴史館)を開催し、全国各地から研究者が参加した。(※関連展示:「春の特別企画展」)

### 3 美術館事業

美術館では、郷土の美術・工芸の研究成果を収集・保存・展示に生かし、美術館活動の普及のために広範な教育活動を行っている。

平成28年度の企画展示は、6月の「工芸都市高岡クラフトコンペの30年」では、本市の重要な事業であるコンペティション開催の30年を記念して、歴代グランプリ作品や、コンペを通じて生まれた新たなプロジェクト等、クラフトと地域の関わりを紹介した。

7月～8月に高岡出身の彫刻家・村上炳人の生誕100年を記念して「生誕100年 村上炳人展 ―造形を詩う―」を開催した。二紀展出品の代表作をはじめ、初期の作品や資料、陶芸や書画に能力を発揮した一面や、人々に親しまれる野外作品にも触れ、生涯を通じて立体表現の神髄を探究した村上炳人の創作の全貌を紹介した。

9月からは、日本のコロタイプ印刷の草分けである京都 便利堂の協力のもと「美の記憶―よみがえる至宝たち―」を開催した。《法隆寺金堂壁画12面》をはじめとする便利堂の文化財記録・保存事業への歴史的貢献と、《正倉院文書》や《鳥獣人物戯画(甲巻)》《風神雷神図・夏秋草図屏風》など、未来へ守り継がれるべき国宝や重要文化財の、現代における複製品の幅広い楽しみ方と意識を紹介し、まさに「複製でみる“原寸大”美術全集」の醍醐味を教えてくれる内容となった。

恒例の展覧会としての「日本伝統工芸富山展」、「高岡市民美術展」についても、各々地域の作家たちの成果を発表する場として好評を得た。

コレクション展示においては、「コレクション展 高岡の金工・漆芸 入門！」では「ものづくり・デザイン科」に学ぶ児童・生徒たちへの教育普及を主な目的に、地域の「たからもの」である金工、漆芸の名作を展示し、郷土の工芸の歴史と技についてわかりやすく紹介した。

藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーにおいては、「オバケのQ太郎」や「ドラえもん」をはじめ数多くの魅力的な漫画の名作を生み出した、日本を代表する漫画家である藤子・F・不二雄氏が幼少から少年時代を高岡で過ごされたことから、ふるさと高岡での足跡をたどりながら、たくさんのまんが原画を通して藤子・F・不

二雄氏の「まんが」の原点や作品の楽しさを、国、県内外から来高された多数の皆さんに理解していただいた。

#### 4 博物館事業

展示事業としては、常設展「高岡ものがたり」(通年開催)では、高岡の歴史・民俗・伝統産業の分かりやすい紹介に努め、団体見学への展示解説等を行った。常設展内の「お宝コーナー」では、「春の絵画」、「久保田米僊筆《海陸戦闘図》」、「東郷元帥と乃木大将の書」、「アニメ映画《この世界の片隅に》パネル展」を順次開催した。

また、企画展「幕末維新風雲通信 ～将軍家医師・坪井信良より兄佐渡養順への手紙～」(4月～5月)を開催し、高岡最古の町医者・佐渡家の貴重な資料を初公開展示した。特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」(7月～10月)では、耐乏が強いられた戦時下での生活資料などを展示し、平和の大切さを改めて認識してもらう機会とした。また、会期中に新たに寄贈を受けた資料が多くあり、企画展「緊急延長！新たに寄贈された戦時下資料」(10月～平成29年1月)を開催した。館蔵品展「新資料展」では、近年新たに収集した高岡の歴史・民俗・美術などに関わる資料を展示・紹介している(次年度5月7日まで開催予定)。

教育普及事業としては、外部講師による郷土学習講座「高岡を知る」(全3回)や、館職員によるミニ講座「高岡のみじかい話」(全12回)、古文書講座「初めての古文書教室」(全6回)を開催した。また、桜の時期に合わせた屋上開放「古城公園展望台」、呈茶の会「松聲庵 一博物館で抹茶を楽しみませんか」(春・秋)を開催した。そのほか、講師・委員の派遣協力も行った。

資料収集・保存活動では、歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保存に努めた。調査研究活動では、日ごろ博物館に寄贈される資料の調査・整理に取り組んだ。また、これまでに調査が終了した資料台帳の内容を精査し、当館収蔵資料情報のデジタル化を進め、669件の資料情報を公開している。

#### 5 市民会館事業

4月には音楽文化のまちづくり事業「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭2016」高岡公演を国宝瑞龍寺ほか3会場で開催し、地元出身のアーティストらが「自然と音楽-la nature-」をテーマに魅力溢れるプログラムを展開した。「五環の森プロジェクト」(地域創造助成事業2年目)では、5月から7月にかけてミュゼふくおかカメラ館を会場に「め・目・メ」と題した企画展及び関連催事に取り組んだ。昆虫写真の大家・栗林慧氏と富山大学芸術文化学部准教授の西島治樹氏(媒体芸術家)が、これまでにない視点で幅広い年齢層の来場者に表現の豊かさや楽しさを伝えた。

また、当館が記念すべき開館50周年を迎えたことから、「響」をテーマに様々な事業を展開した。6月には～プラスの響～「大阪桐蔭高等学校吹奏楽部特別演奏会」を開催し、約180名による全国トップレベルの圧巻のステージと、地元吹奏楽部生111名が登壇する多彩なプログラムで満席の吹奏楽ファンを魅了した。また10月には～歓喜の響～「オーケストラ・アンサンブル with 高岡第九」を開催し、練習を重ねた

市民合唱団100名と高岡市出身のソリストらが、新進気鋭の垣内悠希指揮者とオーケストラ・アンサンブル金沢の演奏とともに歓喜の歌声を披露し、約1,200人の観客を感動の渦に包んだ。さらに未来へ繋ぐ音楽鑑賞事業（教育普及事業）として、6月に市内小学4年生全児童対象の～オーケストラの響～「10才のファーストコンサート」（23回目）、11月には市内小学6年生児童対象の～友情の響～劇団四季「こころの劇場」（6回目）を継続開催し、児童や保護者、教育現場から大変好評を得た。ホール活性化特別事業では「特選落語会～三遊亭円楽・三遊亭小遊三 二人会～」を開催し、満席の観客が当代きっての落語家による一流の話芸を楽しんだ。

ホール活性化事業では当館ホールサポーターの会「パープル」とともに～つながる響～「サロンコンサート」を毎月1回のペースで実施し、3月には「開館50周年＋1記念コンサート」では普段と異なるステージ上で賑わいを創出するなど187回目の開催を迎えた。また「コンサートピアノ演奏体験」を7月と12月に実施した。

なお、市民会館ホールにおける公益目的事業の利用は、会館自主事業やサロンコンサート等で使用回数17回、入場者数7,351人であった。また、一般へのホール貸与（収益目的事業等）は、吹奏楽の演奏会等90回で54,069人、合わせて107回で61,420人であった。

## 6 青年の家事業

地域社会における人々の多様な学習活動を支援するため、「文化教室」・「現代教養講座」・「交流支援事業」を実施した。

「文化教室」では、着付け及び水彩画、ペン習字（ボールペン・筆ペン）、ヴィオラ・大正琴、引き締め体操とストレッチの5教室を実施し、秋の文化教室として9月から二胡、心身リフレッシュ体操（3B体操）、やさしいカギ針編の3教室を実施した。「現代教養講座」では、初心者を対象に韓国語と中国語の教室を、外国人講師を迎えて開講した。「交流支援事業」では、太極拳教室を開催し交流を図った。また、リーダー養成のためのリーダー研修会を実施した。

なお、青年の家における公益目的事業の利用は、文化教室で90回、利用人数634人であった。諸室の一般への貸与（収益目的事業）は、2,271回、利用人数21,976人であった。

## 7 ミュゼふくおかカメラ館事業

4～5月に木村芳文写真展を開催した。「星景写真」作品を中心に、夜空にきらめく星々と荘厳に浮かびあがる白山自然態系を紹介した。7月からは、全世界で高く評価されている動物写真家・岩合光昭による「どうぶつ写真展」―地球の宝石―を開催した。たくましく生きる動物の姿や愛らしい表情を通じて、自然や環境や人類の“これから”について考える機会を提唱した。10～11月に立木義浩写真展を開催し初期の代表作「舌出し天使」に加え、最新作の「La Habana」に至るまで、58年に及ぶ活動の軌跡を展示した。12月からの石川賢治月光写真展は、満月の夜に浮かび上がる世界中の大自然を展示し、美しい地球を見つめ直す展覧会となった。

カメラコレクション展示事業では、「はたらくカメラ!」「レトロカメラ×モダンカメラ」「デビュー! NEW コレクション!!」を開催し、これまでにカメラが果たしてきた役割やデザインの変遷について紹介し、ユーモアと解りやすさに重点を定めた展示に努めた。

資料整備事業では、カメラ整理ボランティアとの協力のもと、収蔵資料の整理・データ化を継続して実施している。

教育普及事業では、写真家によるギャラリートークや関連イベント、館長の写真教室、フォトコンテスト審査派遣に加え、「ニッコールフォトコンテスト写真展」、「ワンダーフォト写真展」を実施した。県内の写真家を紹介する「トリプルAポケット」では、高崎勉写真展（富山県出身）を開催し、商品撮影の技術を活かしたアート写真を展示した。

## 8 動物園事業

動物の飼育展示のほか、「ふれあい広場」、動物園まつり、特別展、「動物園だより」発刊等の事業を実施した。

「ふれあい広場」は、ウサギやテンジクネズミ等の小動物に直接触れることができるもので、来園者から好評を得ている。

レクリエーション施設としての機能はもとより、情操教育の場及び環境保全への貢献のために、動物愛護の啓発や情報発信、種の保存に努めている。

## 9 二上まなび交流館事業

主催事業として、二上山の自然に触れる「二上山を楽しもう」を春、秋、冬に実施したほか、野外料理を満喫する「野外料理を楽しもう」や、高岡市で実施されているものづくり・デザイン科に備える「ものづくり体験クラブ」など、多彩な事業を行った。

県委託事業として、異年齢生活体験推進事業「夏合宿（小学4～6年生対象）」「なかよし合宿（小学1～3年生対象）」を実施し、異年齢児童による共同宿泊体験事業を行った。

通年のクラブ活動事業として「まなびっこクラブ」を開講し、ペン習字、茶道、箏、科学工作、パソコン、卓球の6クラブを実施した。技能の向上と共にクラブ員同士の友情を深めた。

「高岡市児童アイデア工作展・高岡市未来の科学の夢絵画展」を9月にウイング・ウイング高岡1階交流スペースで開催した。応募作品はそれぞれ236点と107点で、優秀作35点と20点を、「富山県発明とくふう展・富山県未来の科学の夢絵画展」に出品した。

10月には、当館に事務局を有する外部団体（高岡市児童クラブ連合会、ボーイスカウト高岡地区協議会、ガールスカウト高岡地区協議会）と共同で「まなびっこフェスティバル」を開催し、600人を超える来場者があった。

この他、宿泊学習や親子活動などの学校教育団体、クラブ合宿やボーイスカウト、ガールスカウト活動などの社会教育団体、職員研修などの企業団体等、多くの方々

に様々な体験活動の場を提供した。

なお、まなび交流館における公益目的事業の利用は、主催事業や小・中学校宿泊学習、スポーツ少年団活動など 273 回で、利用人数は 15,734 人であった。

一方、収益目的事業の利用は、研修室等の一般への貸与など 47 回で、利用人数は 846 人であった。

### Ⅲ 評議員会に関する事項

#### 1 審議内容

(1) 第10回評議員会 平成28年5月31日開催

議案第1号	平成27年度決算の承認について	可決
議案第2号	理事の選任について	可決
議案第3号	監事の選任について	可決
報告第1号	平成27年度事業報告について	承認

(2) 第11回評議員会 平成29年3月27日開催（書面によるみなし決議）

議案第4号	理事の選任について	可決
議案第5号	監事の選任について	可決

#### 2 評議員の異動状況

(1) 平成28年5月31日	評議員	荒井 公夫	就任（再）
	評議員	石丸 昌之	就任（再）
	評議員	江沼 修	就任（再）
	評議員	大澤 幸勝	就任（再）
	評議員	竹内 浩子	就任（再）
	評議員	豊本 治	就任（再）
	評議員	樽谷 雅好	就任（再）
	評議員	鍋谷 武	就任（再）
	評議員	野崎 昭雄	就任（新）
	評議員	前田 一樹	就任（再）
	評議員	山崎 健	就任（再）

※任期：平成32年5月定時評議員会の終結の時まで

(2) 平成29年2月9日	評議員	豊本 治	辞任
---------------	-----	------	----

### Ⅳ 理事会に関する事項

#### 1 審議内容

(1) 第25回理事会 平成28年5月16日開催

議案第1号	平成27年度事業報告の承認について	可決
議案第2号	平成27年度決算の承認について	可決
議案第3号	第10回評議員会の招集について	可決

- (2) **第26回理事会** 平成28年5月31日開催（書面によるみなし決議）
- |       |                     |    |
|-------|---------------------|----|
| 議案第4号 | 理事長（代表理事）の選定について    | 可決 |
| 議案第5号 | 副理事長（代表理事）の選定について   | 可決 |
| 議案第6号 | 専務理事（業務執行理事）の選定について | 可決 |
- (3) **第27回理事会** 平成28年10月26日開催
- |       |                         |    |
|-------|-------------------------|----|
| 報告第1号 | 平成28年度上半期に係る事業の執行状況について | 承認 |
|-------|-------------------------|----|
- (4) **第28回理事会** 平成28年12月15日開催（書面によるみなし決議）
- |       |                        |    |
|-------|------------------------|----|
| 議案第7号 | 平成28年度補正予算（第1号）の承認について | 可決 |
|-------|------------------------|----|
- (5) **第29回理事会** 平成29年3月24日開催（書面によるみなし決議）
- |       |                    |    |
|-------|--------------------|----|
| 議案第8号 | 第11回評議員会への議案提出について | 可決 |
|-------|--------------------|----|
- (6) **第30回理事会** 平成29年3月28日開催
- |        |                        |    |
|--------|------------------------|----|
| 議案第9号  | 平成29年度事業計画の承認について      | 可決 |
| 議案第10号 | 平成29年度予算の承認について        | 可決 |
| 報告第2号  | 高岡市公の施設に係る指定管理者の決定について | 承認 |

## 2 理事及び監事の異動状況

- (1) 平成28年5月31日
- |      |       |       |
|------|-------|-------|
| 理事   | 小栗 久雄 | 就任（新） |
| 理事   | 坂本 信幸 | 就任（再） |
| 理事   | 高橋 正樹 | 就任（再） |
| 理事   | 武山 良三 | 就任（再） |
| 理事   | 辻 やす子 | 就任（再） |
| 理事   | 寺嶋 哲  | 就任（再） |
| 理事   | 永田 義邦 | 就任（再） |
| 理事   | 氷見 哲正 | 就任（再） |
| 理事   | 細呂木六良 | 就任（再） |
| 理事   | 蓑 厚行  | 就任（再） |
| 理事   | 村上 隆  | 就任（再） |
| 監事   | 小竹 秀子 | 就任（再） |
| 監事   | 古瀬 一郎 | 就任（新） |
| 理事長  | 高橋 正樹 | 就任    |
| 副理事長 | 氷見 哲正 | 就任    |
| 専務理事 | 寺嶋 哲  | 就任    |

※理事の任期：平成30年5月定時評議員会の終結の時まで

※監事の任期：平成32年5月定時評議員会の終結の時まで

- (2) 平成29年3月31日
- |    |       |    |
|----|-------|----|
| 理事 | 細呂木六良 | 辞任 |
| 監事 | 古瀬 一郎 | 辞任 |